

令和8年度 年間指導計画 2学年【数学科】	指導担当	竹内・村上・栗田
-----------------------	------	----------

月	単元・題材 指導目標 ()は時数	観 点	評 価 材 料
4月 5月	単元1 「式の計算」(15) ・式の計算 ・文字式の利用 ・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。	観点1 知識・技能	・ペーパーテスト ・プリント
		簡単な整式の加法、減法、乗法、除法及び文字を用いた式の計算をすることができる。	
		観点2 思考・判断・表現	・ペーパーテスト ・レポート ・授業観察
		文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。	
5月 6月	単元2 「連立方程式」(12) ・連立方程式とその解き方 ・連立方程式の利用 ・具体的な事象の中の数量の関係を、文字を用いた式で表し、方程式を作ることができる。 ・連立方程式を利用して身近にある数量の関係を説明することができる。	観点1 知識・技能	・ペーパーテスト ・プリント
		連立方程式の必要性と意味やその解の意味、加減法や代入法の意味などを理解し、連立方程式を解いたりすることができる。	
		観点2 思考・判断・表現	・ペーパーテスト ・レポート ・授業観察
		連立方程式を具体的な場面で利用することができる。	
7月 9月	単元3 「1次関数」(19) ・1次関数 ・1次関数の性質と調べ方 ・2元1次方程式と1次関数 ・1次関数の利用 ・2元1次方程式を、関数を表す式としてみるができる。 ・1次関数を用いて、具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	観点1 知識・技能	・ペーパーテスト ・プリント
		1次関数の意味を理解し、様々な事象を1次関数としてとらえ、表、式、グラフなどで表すことができる。	
		観点2 思考・判断・表現	・ペーパーテスト ・レポート ・授業観察
		1次関数を具体的な場面で利用することができる。	
10月 11月	単元4 「平行と合同」(15) ・説明のしくみ ・平行線と角 ・合同な図形 ・平行線と角の関係について理解することができる。 ・基本的な平面図形の性質を見出し、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明することができる。	観点1 知識・技能	・ペーパーテスト ・プリント
		平行線や角の性質や論理的に説明することの必要性を理解し、それらを基に証明することができる。	
		観点2 思考・判断・表現	・ペーパーテスト ・レポート ・授業観察
		さまざまな図形の性質を適切に選択し、具体的な場面で利用することができる。	
11月 12月 1月	単元6 「三角形と四角形」(21) ・三角形 ・平行四辺形 ・多角形の角についての性質を見いだせることができる。	観点1 知識・技能	・ペーパーテスト ・プリント
		三角形、四角形の性質を理解して、それらを基に証明をすることができる。また、多角形の角を求めることができる。	
		観点2 思考・判断・表現	・ペーパーテスト ・レポート ・授業観察
		三角形や四角形の性質を具体的な場面で利用することができる。	
1月 2月	単元6 「確率」(9) ・確率 ・確率による説明 ・確率を用いて、不確定な事象を捉え考察し表現することができる。	観点1 知識・技能	・ペーパーテスト ・プリント
		起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。	
		観点2 思考・判断・表現	・ペーパーテスト ・レポート ・授業観察
		身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。	
		観点3 主体的に学習に取り組む態度	・授業観察(取り組みなど) ・振り返り

		確率を利用した問題解決の過程を振り返り、評価・改善することができる。	・振り返り
2月 3月	単元7 「データの比較」(5) ・四分位範囲と箱ひげ図 ・四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解することができる。	観点1 知識・技能 箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。	・ペーパーテスト ・プリント
		観点2 思考・判断・表現 箱ひげ図と四分位範囲を用いてデータの傾向を読みとり、考察することができる。	・ペーパーテスト ・レポート ・授業観察
		観点3 主体的に学習に取り組む態度 箱ひげ図と四分位範囲を利用した問題解決の過程を振り返り、評価・改善することができる。	・授業観察(取り組みなど) ・振り返り